(様式第3号)

企業・団体名(有限会社横嶋商店)

SDGs達成に向けた具体的な取組(要件2) 【R5.9.5変更】

	_			• • -			_												
カ					目什么小职犯									169ター					
テゴリ	. #	丰該 当	チェック項目	(県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。) 日談体制を整 基本 年齢・性別で差別することなく雇用体制を構築している。	2	3		5	-	-	8	9 10	_	12		14	16		
1		0	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	年齢・性別で差別することなく雇用体制を構築している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10. 10.					16.1 16.2 16.7
2		а	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体 制を整備している	基本	ハラスメント禁止について社内で研修・教育をしている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8						16.1
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	午後6時には会社を出れるように一日の仕事の予定を 調整している。								8.5 8.8						
1			【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	現在外国人労働者はないが、採用の制限は設けていない。				4.4				8.7 8.8	10. 10.					
5 人 権	.	П	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	ヒヤリハットの講習を社内で定期的に行い、日々の仕事 に生かしている。			3					8						
· 労 働			【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	社内での対話を尊重し社員同士が、常に会話ができる 環境を構築している。			3											
			【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材 (女性、外国人、障がい者、高齢者等) が、十分に活躍できる環境の 整備に取り組んでいる	基本	弊社店舗にて高齢者の方々が活躍できる場を提供している。					5.1 5.5			8.5	10. 10.					
		0	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	協会主催の講習会など多岐にわたって講習会参加を 促している。				4	5.5			8	9					
•		0	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	雇用形態の違いにかかわらず同一の人事評価を構築 している。					5.5			8.5	10. 10.					
)		0	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ				3					8						
		0	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	廃棄物に分別を確実に実施している。										11.6	12.4		14.1	
環			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	自社屋根に太陽光発電設備を設置している。							7.3					13		
境		0	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	事務所内・店舗内のLED器具の導入を進めている。							7.2 7.3				12.4	13.3		
4		0	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に 取り組んでいる	基本	規制対象となる物質を把握して使用や廃棄について適切に実施している。			3.9		6	.3				11.6	12.4			

非該当														/ 大	連項目	1		
=	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、	1		3 4	5	6		8	9	10	11	12 1	13 14	15		
		レベル	併せて記載してください。)	John C	*	A REET	ġ.	<u> </u>		र्था वर्ष	omar B	o:or •⊕•	AMP HERE	8	> X	<u>**</u>	¥	****
0	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	事務所店舗内で購入する消耗品はサステナブルラベルを購入するよう心掛けている。					6.6								15		
О	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	リサイクル品は分別して、各自リサイクルステーション・ 業者に出すよう心掛けている。											12.5	14.	1		
0	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレン ジ						6.4 6.6										
0	【環境マネジメントシステム】 ・IS014001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレン ジ			3	.9		6	7					12 1	3.3 14	15		
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ												12.6				
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	自社屋根に太陽光発電設備を設置している。						7.2						13			
0	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ												12.2	13 14	15		
	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	汚職・贈収賭禁止について社員教育を実施している。														16 16.5	
	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	不正競争行為禁止について社員教育を実施し周知している。														16	
	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	業務の中で知的財産侵害などがないように、注意を 払っている。							8.2 8.3	9							
0	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	個人情報に対するルールを定めて適切に管理する体制を整 えている。														16	
а	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレン ジ															16	
а	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への 悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)につい て認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ					5			8		10		12	13 14	15	16	17
	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本	(予定)パートナーシップ構築宣言を作成公表している			3				8	9	10						17
		・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している 【3 Rの推進】・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる 【水の管理】・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる 【環境マネジメントシステム】・15014001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している 【環境情報開示】・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している 【再生可能エネルギーの利用】・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる 【天然資源の持続的利用し配慮した調達に取り組んでいる 【天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる 【公正な競争】・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している 【公正な競争】・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している 【個人情報保護】・知的財産の保護に取り組んでいる 【個人情報保護】・個人情報を適切に管理している 【紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している 【紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している 【が子イヤー、無理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる 【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加)・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している 【3 Rの推進】・リテュース、リサイクルに取り組んでいる 【水の管理】・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる 【環境マネジメントシステム】・15014001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している 【環境情報開示】・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している 【再生可能エネルギーの利用】・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる 【天然資源の持続的利用】・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる 【天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる 【方職・贈収賄防止】・汚職・贈収賄防止】・ 不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している 【公正な競争】・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している 【個人情報を適切に管理している 【個人情報を適切に管理している 【制的財産保護】・個人情報を適切に管理している 【例情報を適切に管理している 【例情報を適切に管理している 【がナラライヤエーン管理】・サブライヤエーン管理】・サブライヤエー事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への思影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる 【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加)・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している 【3 Rの推進】 ・リデュース、リュース、リサイクルに取り組んでいる 【水の管理】 ・水質源の利用状況を通切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる 【環境でも対している・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している ステムようの掛けている。	□ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	□ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している □ 【3 Rの推選】 □ 【1 Rの推選】 □ 【次の復型】 □ 大変流の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる □ 【理境マネジメントシステム】 □ 【1 理境ではシントシステム】 □ 【1 理境ではシントシステム】 □ 【1 理境ではシントシステム】 □ 【1 理境ではシントシステム】 □ 【1 理域ではシントシステム】 □ 【1 理域ではシントシステム】 □ 【1 理域ではカンに関する情報を正しく関示している □ 【1 理域の取り組みに関する情報を正しく関示している □ 【1 理域の取り組みに関する情報を正しく関示している □ 【2 大数資源の持続的利用】 □ 大数資源の持続的利用 □ 「大数資源の持続的利用】 □ 大数資源の持続的利用 □ 「大数資源の持続的利用】 □ 大数値に取り組んでいる □ 【2 Mp能度度置】 □ 「2 Mp能度度置】 (2 S, S S S S Mp	□ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している □ 【3 Rの推進】 □ 【1 Rの推進】 □ 【1 Rの運動 □ 【2 Rの運動 □ 大変電型 □ 大変電型 □ 大変電型 □ 大変電型 □ 大変電型 □ 大変電型 □ 大変なの利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる □ 【2 理境不なジメントシステム】 □ 【1 理境不なジメントシステム】 □ 【1 理境不能を取り扱うに関する情報を正しく開示している □ 【2 理域の取り組みに関する情報を正しく開示している □ 【2 アセン □ 【2 正弦検索制限元】 □ 「2 と 対象の取り組みに関する情報を正しく開示している □ 【3 年可能エネルギーの利用】 □ 大変対象の持続的利用】 □ 大変対象のが持続的利用】 □ 大変対象のが持続的利用】 □ 大変対象のが持続的利用】 □ 大変対象のが持続的利用】 □ 大変対象のが持続的利用】 □ 大変対象のが持続的利用】 □ 大変対象のが持続的利用」に定慮した関連している □ 【5 関心を対象を対象を対象したいからまました。 □ 【1 国動財産保護】 □ 「2 国力財産の保護」 □ 「2 国力財産の	- 自杜活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配産している	- 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配達している	- 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している 本	- 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している 本	- 自社活動が生物多核性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している 本	- 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配達している 本本	10 12 13 14 15 15 16 17 17 17 17 17 17 17	日本活動が生物を特性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している 3本

<u>※「パートナーシップ構築宣言」の作成・公表方法はこちら。https://www.biz-partnership.jp/</u>

	Т					Г			主な	SDGs	(17	ゴール。	- 16	9ター	ゲッ	F)	関連コ	百日		\neg
		非該	チェック項目	取組	具体的な取組	1	2		4	5	6	7 8	9	10	11	12	13	14 15 16 17		
		当	アエック項目	レベル	(県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。)	in. Mild	ž:::	8 HILL 14/4	ezn Mili	ġ.	ĝ	<u>a</u>	oma As	oinm (∰)	W	82	0	### ##	¥	8 min.
29			【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	製品に想定されるリスクの抽出と対策を実施している。			3.9								12.4				
30	製品・サー		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	常にお客様との対話大事にしてその時々で柔軟に対応 できるよう社内で話し合いをしている。								9							
	I ビス		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレン ジ							6					12	13	14	15	
32		0	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレン ジ		1	2	3	4	5	6	7 8	9	10	11	12	13	14	15 10	3 17
33	* +	0	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	お客様の声をよく聞き社内で共有している。				4				9		11	12		14	15	17
34 貢	会貢献・		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ					4						11			14	15	17
35		0	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ								8	9		11	12	13			
36		0	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営理念・経営方針を朝礼時に確認している。							8	9							17
37		0	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築して いる	基本	仕事に与える法律を洗い出し、全従業員で話し合いを 行っている。														10	i
38		0	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備 している	基本	責任者を任命し取り組みを行っている。														10	;
	哉	П	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼ す影響を把握し、適切に対応している(※利書関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本	ステークホルダーと対話を行い、自社活動におけるステークホルダーへの影響を把握し具体的な対応を心掛けている。														10	3 17
	本制		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ															10	í
41		0	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づ を企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでい る	チャレンジ															10	,
42			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ									9		11		13 13.1		10	,
43		0	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ								8	9							17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載い ただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。 (※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGAN Oものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進 |功労者表彰、森林認証制度、森林002吸収評価認証制度、長野県県産材002固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)
- この「要件2」は、ISO26000 (※1) 、RBA (Responsible Business Alliance) (※2) 行動規範等を参考に、非財務情報 (SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項) について整理し作成 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**馬李**・ 間接的 (結果として) に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、<mark>赤字</mark>で番号を記載 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載 ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定